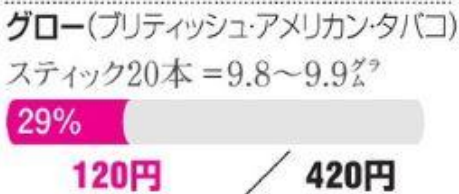
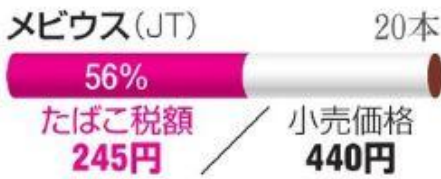


週刊

タバコの正体



朝日新聞 DIGITALから

紙巻きたばこ
加熱式たばこ
税額の比較
カッコ内は社名

10月1日からタバコが値上がりしました。皆さんには、ほとんど興味のないことと思いますが、毎日タバコを吸わなければならない喫煙者にとっては無視できない出来事です。

左図に示した小売価格は値上げ前の値段なのですが、それぞれ次のように値上げされました。

メビウス 440円 ⇒ 480円

アイコス 460円 ⇒ 500円

グロー 420円 ⇒ 460円

ブルーム・テック 460円 ⇒ 490円

この値上げは、製品そのものの価格ではなく、タバコに課せられる税率が引き上げられたためです。図のようにメビウスのような一般的なタバコの税率は50%を超えています。つまり本体より税金の方が高いのですが、それでも海外に比べればかなり低い事を以前も紹介しましたね。すでにオーストラリアでは2000円、アメリカでは1500円もしていますので、日本のタバコもまだまだ高くなるでしょう。

たばこは数年かけて増税 ※写真は各社提供

種類	1箱の小売価格(税込み)	現行たばこ税額(紙巻きたばこ比)	2022年10月以降のたばこ税額イメージ
「アイコス」フィリップモリス	460円	192.23円 (78.5%)	270円程度
「グロー」プリティッシュ・アメリカン・タバコ	420円	119.99円 (49.0%)	240円程度
「ブルームテック」JT	460円	34.28円 (14.0%)	210円程度
紙巻き 一般的な商品(20本)	440円	244.88円	304.88円

加熱式たばこ
段階的に増税
5年かけて
14年かけて
1本3円増税

じつは、今回の値上げはその始まりで、2018年10月から段階的に税率が引き上げられ2022年には左図に示す税額になる予定です。言うことは5年後には、どのタバコも500円を超えているのです。

タバコが必要ない人にとっては、まったく興味がない話ですが、毎日タバコを吸わなければならない人には、ますます無視できない話です。

「喫煙者でなくて良かった」と感じると同時に「吸い始めないようにしよう」と思いますよね。

産業デザイン科 奥田 恭久

※現在の小売価格の値上げなどを考慮しない前提で試算

毎日新聞ニュースサイトから